

検討事項シート（持続可能な町会運営の方法）

項 目		持続可能な町会運営に向けた課題等	論 点
業務の スリム化・ 方法の 見直し	たな卸し	<ul style="list-style-type: none"> ・ たな卸しを実施する余裕がない。 ・ 地区の会議や行政からの依頼が多いので、行政など町会以外の見直しも必要である。 ・ 業務のスリム化などは、住民(会員)ニーズを捉えることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ たな卸しや住民ニーズの把握など、業務のスリム化を進めるには。 ・ コーディネーター役への転換を進めるには。
	組織のスリム化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務のスリム化を行わずに専門部を統合すると、逆に役員の負担が増える。 ・ 業務のスリム化が進むと、組織のスリム化につながる。 	
	役割・位置付けの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題は、細分化し増えていくので、町会は、最低限のことは実施し、ニーズがある活動と地域の多様な団体とをコーディネートする役割へ転換した方が良い。 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ スリム化などは、一律ではなく、地域ごとや段階的なアプローチが必要である。 	
近隣町会との合併		<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併は、範囲の拡大による業務増や、役員感情などにより難しいこともあるので、事業の連携から進めることが必要である。 ・ 合併は、合併決定のプロセスが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノウハウがないなか、合併手続き（合併協議、合意形成、総会による決定、財産処分など）を進めるには。
なり手・担い手の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員であることや町会加入者であることに拘らず、地域コミュニティの重要性を認識している若者や、地域貢献に意欲的な高齢者およびNPOなどを、活動に取り込んでいくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会員や役員に拘らず、担い手を確保していくには。